

**2026年3月期 連結決算概要**  
**2027年3月期 連結業績予想**

---

**説明資料**

2026年5月13日(水)

# 2026年3月期 連結決算概要

---

## 連結対象会社

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	34社	46社	12社	+ UBE URETHANES AUSTRALIA PTY LTD + UBE LATIN AMERICA LTDA. + UBE URETHANES CANADA LTD. + UBE China Holding Co., Ltd. + UBE Urethanes Nantong Co., Ltd. + UBE Urethanes Germany GmbH + UBE URETHANES INDIA PRIVATE LIMITED + UBE URETHANES ITALY S.R.L. + UBE Urethanes Netherlands B.V. + UBE URETHANES UK LTD. + UBE URETHANES USA LLC + UBE POLYMERS & CHEMICALS EUROPE S.L.U.
持分法 適用会社数	17社	17社	—	
計	51社	63社	12社	

## 環境要因

項目			2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	152.6	150.8	△ 1.8	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	696	604	△ 92
		国産	円/KL	75,800	65,100	△ 10,700
	豪州炭 (CIF)		\$/t	157.8	139.0	△ 18.8
			円/t	24,069	20,957	△ 3,112

## 主要項目

(単位:億円)

項目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,868	4,623	△ 245	△ 5.0%
EBITDA	455	464	9	2.1%
営業利益	180	189	9	5.0%
経常利益	224	375	151	67.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 48	239	287	—

## セグメント変更

旧セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル <u>高機能コーティング</u> エラストマー
機械	
その他	<u>医薬</u> 電力 販社等

新セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
<u>高機能ウレタン</u> (新規)	<u>ウレタンシステムズ(新規)</u> <u>高機能コーティング(異動)</u>
<u>医薬</u> (独立)	
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル エラストマー
機械	
その他	電力 販社等

## セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

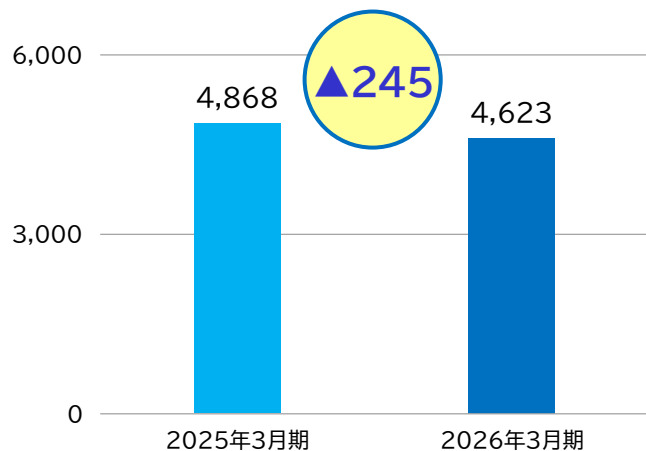
	セグメント	2025年3月期	2026年3月期	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	662	619	△ 43	△ 6.4%
	高機能ウレタン	156	465	309	198.1%
	医薬	315	210	△ 105	△ 33.3%
	樹脂・化成品	2,736	2,512	△ 223	△ 8.2%
	機械	869	684	△ 185	△ 21.3%
	その他	392	345	△ 47	△ 12.0%
	調整額	△ 261	△ 212	49	-
	計	4,868	4,623	△ 245	△ 5.0%
営業利益	機能品	117	98	△ 19	△ 16.4%
	高機能ウレタン	△ 2	△ 5	△ 3	-
	医薬	12	△ 13	△ 24	-
	樹脂・化成品	△ 7	82	89	-
	機械	79	62	△ 16	△ 20.8%
	その他	21	19	△ 1	△ 6.9%
	調整額	△ 38	△ 54	△ 16	-
	計	180	189	9	5.0%

- (注)・2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。  
 なお、2025年3月期は、変更後の区分方法により作成したものです。  
 ・2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社の企業統合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

# 差異分析 全社

(単位:億円)

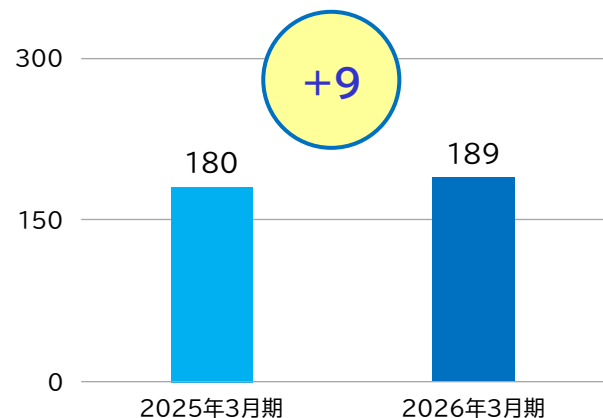
## 売上高



機能品	△ 43
高機能ウレタン	309
医薬	△ 105
樹脂・化成品	△ 223
機械	△ 185
その他	△ 47
調整額	49

△5.0% 減収

## 営業利益



機能品	△ 19
高機能ウレタン	△ 3
医薬	△ 24
樹脂・化成品	89
機械	△ 16
その他	△ 1
調整額	△ 16

5.0% 増益

## 定性情報

### 売上高:減収

- 高機能ウレタン : 2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得
- 樹脂・化成品 : ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低迷
- 機械 : 前年度に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

### 営業利益:増益

- 樹脂・化成品 : アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの減損損失を前期に計上したことによる減価償却費の減少
- アンモニア工場が非定期修理年
- エラストマーの原料価格が下落

## 営業利益差異

価格差 ※1 44

数量差 △ 48

固定費ほか ※2 13

計 9

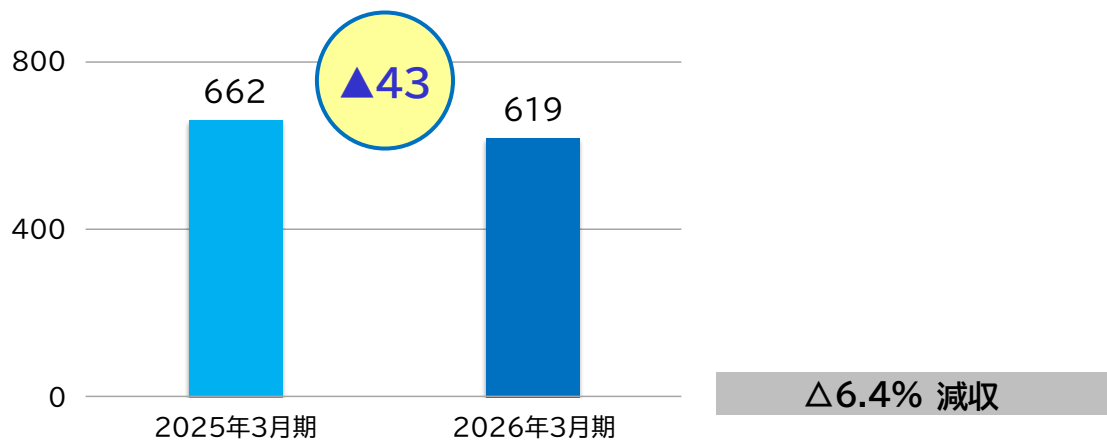
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

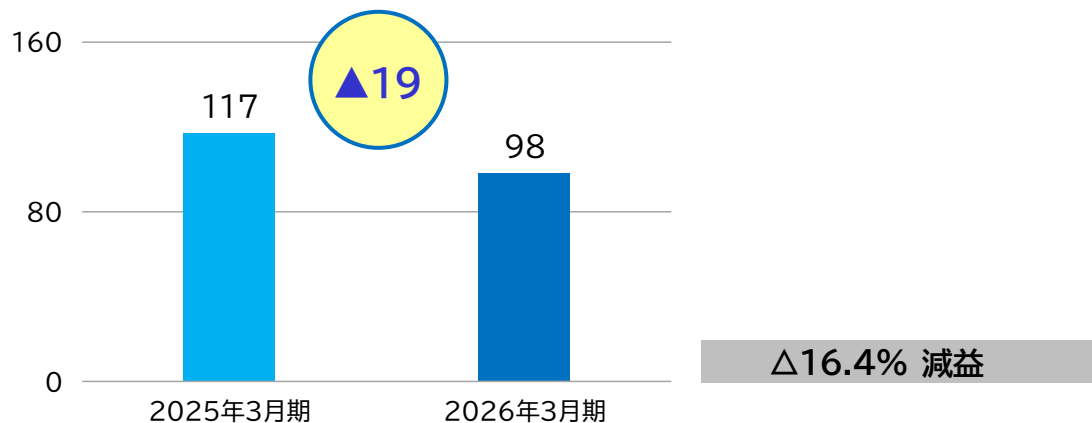
# 差異分析 機能品

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- ・ **ポリイミド** :フィルムの販売は前期並みを維持したものの、当社品が採用されているスマートフォンの販売減少の影響等によりワニスが低調
- ・ **分離膜** :窒素膜は堅調であったものの、バイオメタン製造向け脱炭酸膜が一部顧客で在庫調整等の影響が継続
- ・ **セラミックス** :電動車市場の成長鈍化により軸受・基板用途の販売が低迷
- ・ **セパレータ** :ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

### 営業利益:減益

- ・ ポリイミド、分離膜、セラミックスの販売が低調

## 営業利益差異

価格差 ※1                      18

数量差                              △ 27

固定費ほか ※2                  △ 10

計                                      △ 19

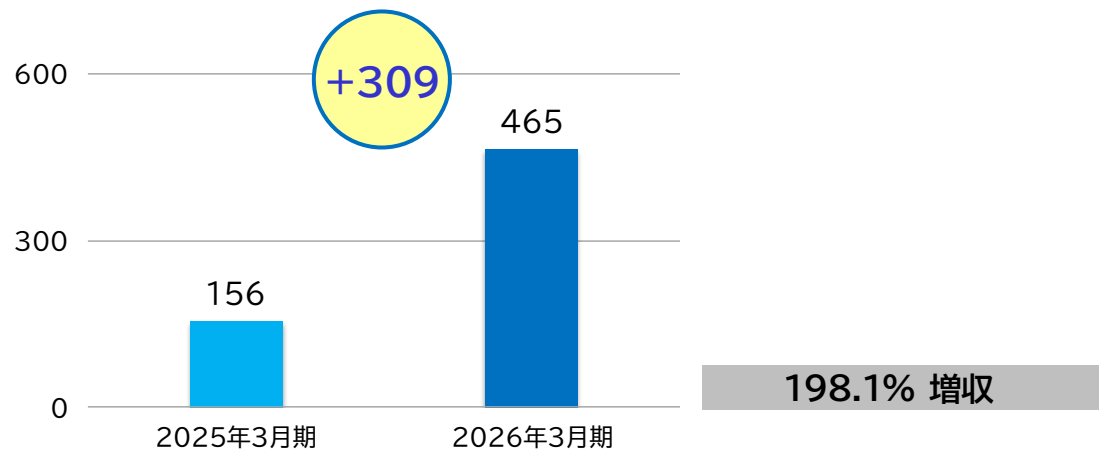
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

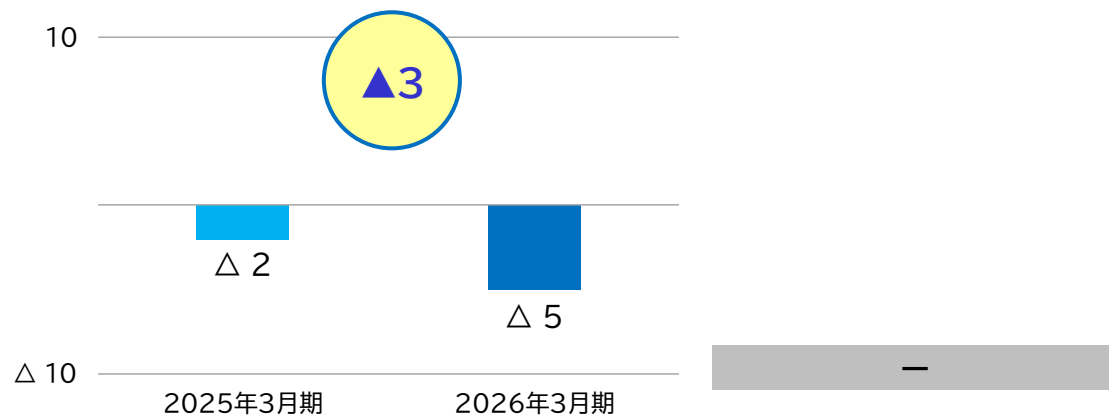
# 差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- ウレタンシステムズ :2025年4月に事業取得。当事業を担う各社が12月決算であるため、4-12月の9ヵ月間の業績が通期の損益に反映。堅調な米国事業に注力。

### 営業利益:減益

- ウレタンシステムズ事業取得後の統合(PMI)費用を計上
- 高機能コーティングの販売が低調

## 営業利益差異

価格差 ※1 0

数量差 Δ 6

固定費ほか ※2 2

計 Δ 3

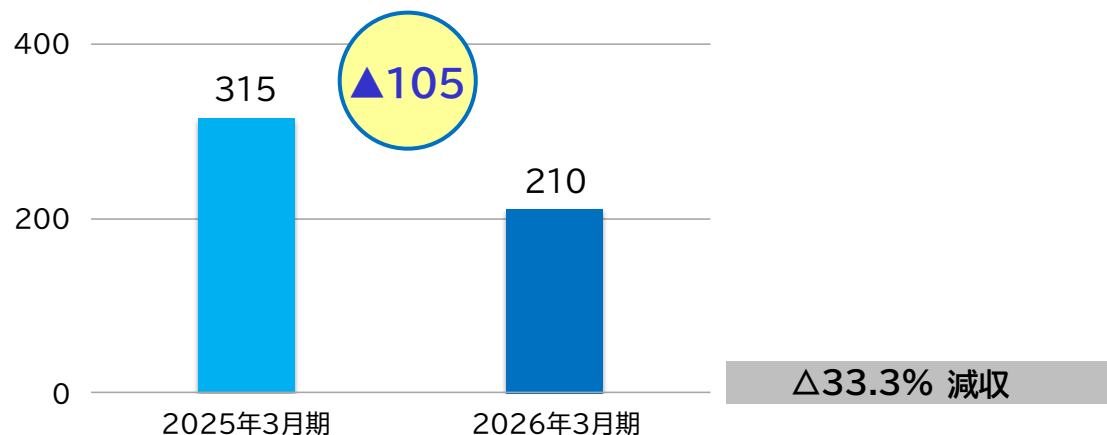
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

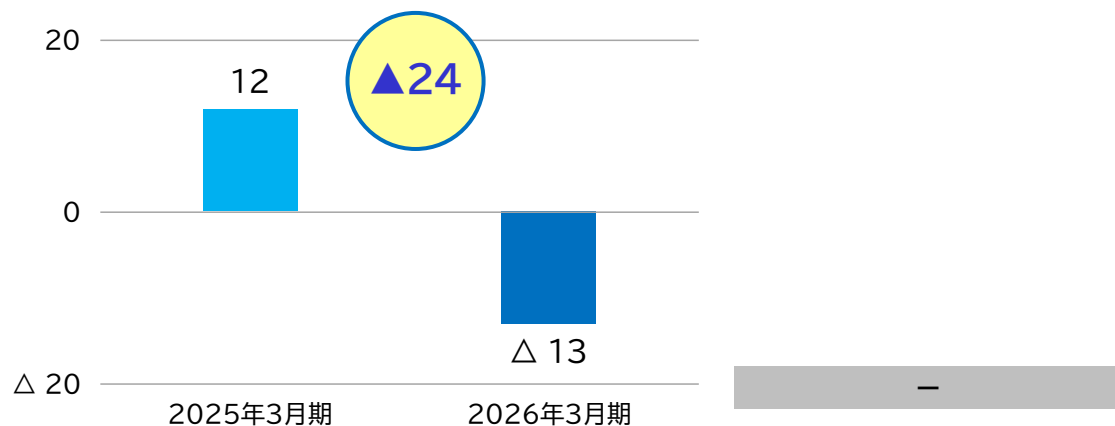
# 差異分析 医薬

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- 受託品の販売数量が減少

### 営業利益:減益

- 受託品の販売数量が減少

## 営業利益差異

価格差 ※1                      3

数量差                              △ 28

固定費ほか ※2                      1

計                                      △ 24

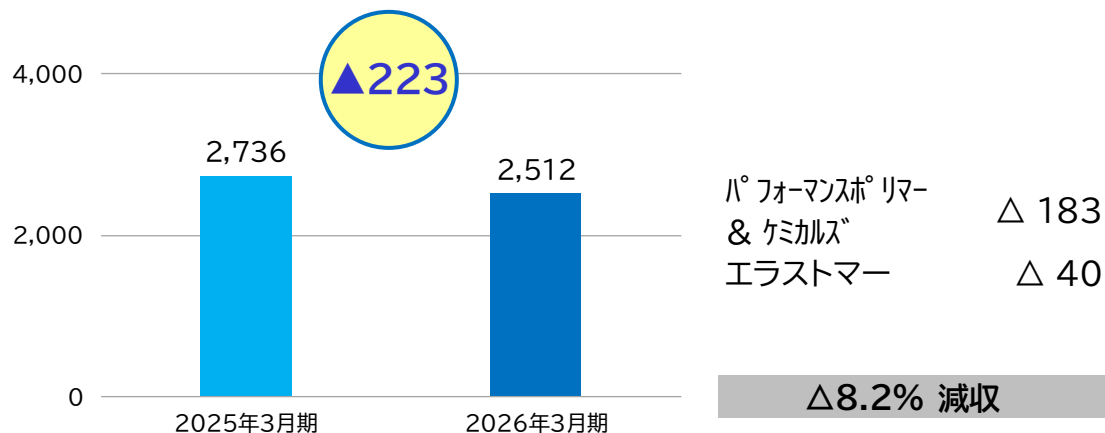
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

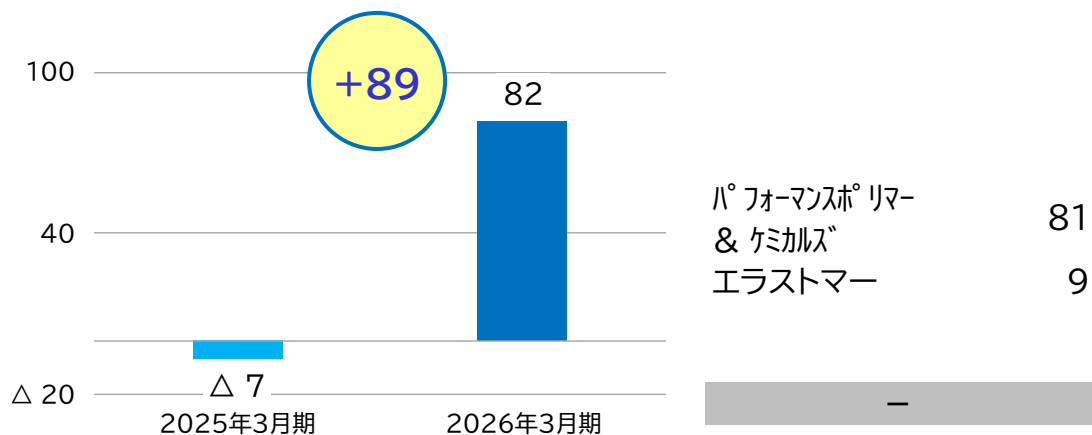
# 差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- ・ ナイロンポリマー :海外での食品包装フィルム用途等の需要低迷による販売数量減少、販売価格下落
- ・ ラクタム・硫安 :競争激化による販売数量減少、販売価格下落

### 営業利益:増益

- ・ アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの減損損失を前期に計上したことによる減価償却費の減少
- ・ アンモニア工場が非定期修理年であるため、補修費が減少し、販売数量も増加
- ・ エラストマーの原料価格が下落

## 営業利益差異

価格差 ※1 28

数量差 11

固定費ほか ※2 49

計 89

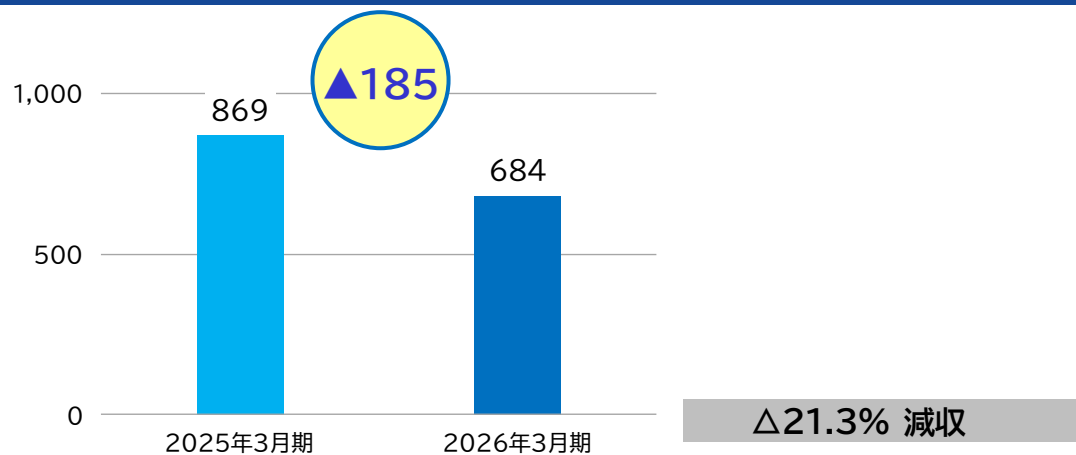
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

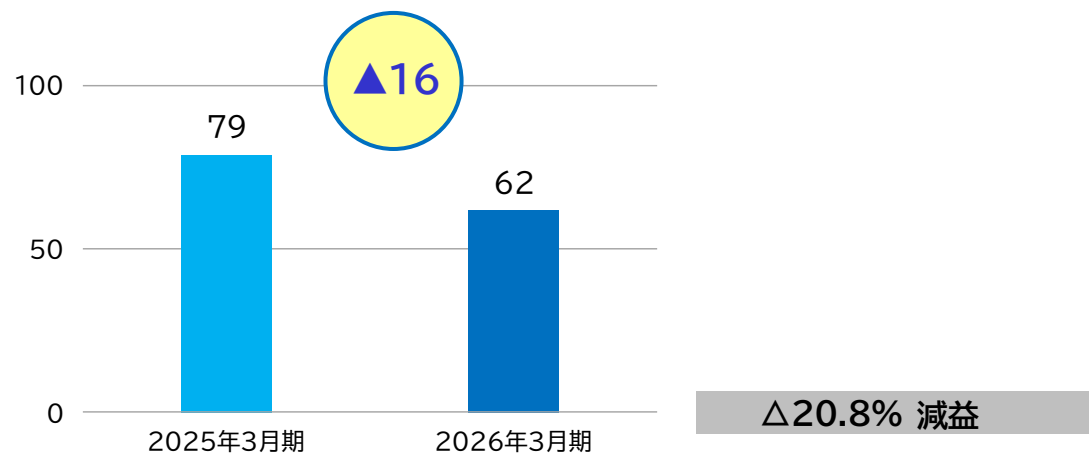
## 差異分析 機械

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

## 売上高:減収

- 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

## 営業利益:減益

- 成形機事業の製品販売が低調に推移
- 産機事業の製品販売が減少

## 営業利益差異

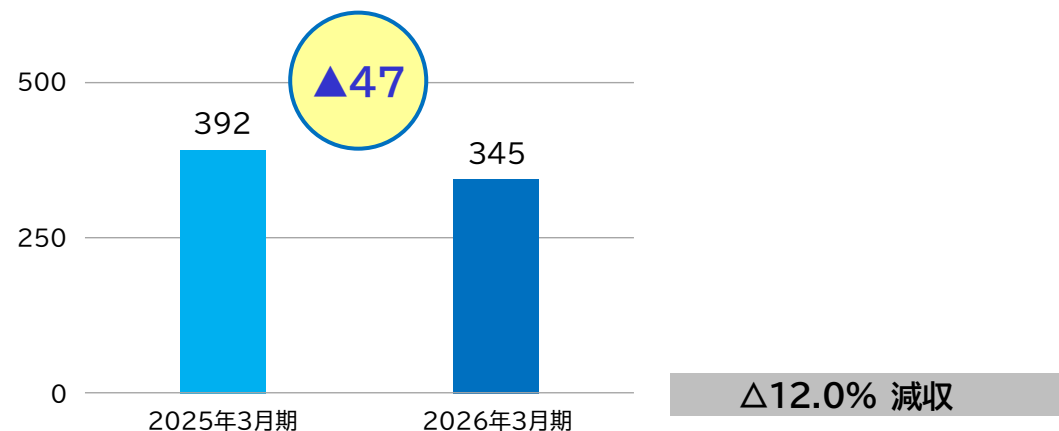
機械部門限界利益 △33

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

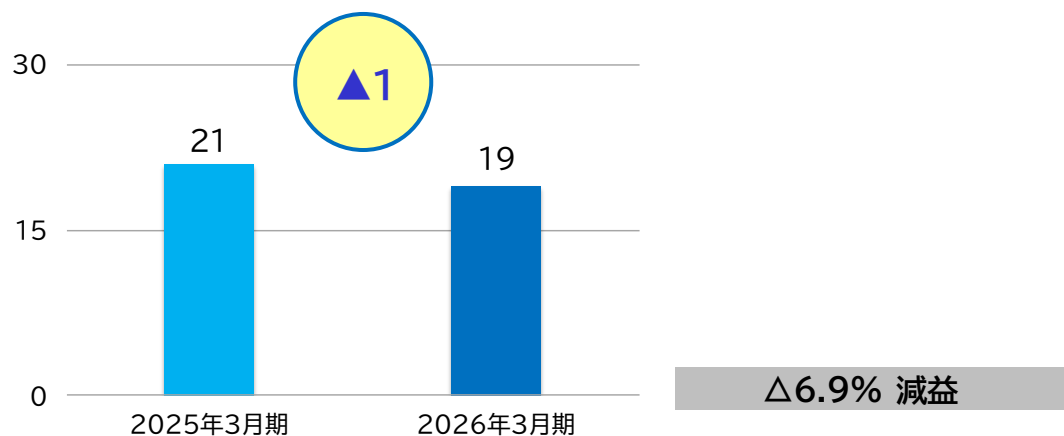
# 差異分析 その他

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- 電力 :石炭価格の下落に伴い売電価格が下落

### 営業利益:減益

- 自家発電所が非定期修理年であるため補修費が減少し、前期並み

## 営業利益差異

価格差 ※1	△ 6	
数量差	2	
固定費ほか	3	※1:資材単価差含む
計	△ 1	

## 営業利益～当期純利益

(単位:億円)

項目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	180	189	9
営業外損益	43	186	142
金融収支	△ 5	△ 25	△ 20
持分法による投資損益	76	154	78
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	156	126	△ 30
為替差損益	△ 2	43	45
その他	△ 27	13	40
経常利益	224	375	151
特別損益	△ 333	△ 68	265
税金等調整前当期純利益	△ 109	307	416
法人税等・非支配株主利益	61	△ 69	△ 129
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 48	239	287
1株当たり当期純利益	△ 49.60円	245.76円	295.36円

## 貸借対照表

(単位:億円)

項目		2025年3月期末 (A)	2026年3月期末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	3,584	3,083	△ 501
	固定資産	5,076	6,378	1,302
	合計	8,662	9,463	801
負債	有利子負債	3,305	3,582	276
	その他負債	1,234	1,332	99
	計	4,539	4,914	375
純資産	自己資本*	3,951	4,372	421
	非支配株主持分他	172	177	5
	計	4,123	4,549	426
負債・純資産合計		8,662	9,463	801

\*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項目	2025年3月期	2026年3月期	
A.営業活動によるCF	358	600	税金等調整前当期純利益 307 減価償却費 257 減損損失 27 持分法による投資損益 △154 他
B.投資活動によるCF	△ 632	△ 1,402	有形・無形固定資産の取得 △724 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得△715他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 273	△ 802	
C.財務活動によるCF	1,059	130	有利子負債の増減 276 配当金の支払 △114 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	796	△ 629	
E.現金及び現金同等物の当期末残高	1,154	526	

# 2027年3月期 連結業績予想

---

## 連結対象会社

項目	2026年3月期末 (A)	2027年3月期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	46社	46社	—	
持分法 適用会社数	17社	16社	△1社	- LOTTE UBE SYNTHETIC RUBBER SDN. BHD.
計	63社	62社	△1社	

## 環境要因

項目			2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	150.8	155.0	4.2	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	604	750	146
		国産	円/KL	65,100	82,500	17,400
	豪州炭 (CIF)		\$/t	139.0	145.0	6.0
			円/t	20,957	22,475	1,518

# 主要項目

(単位:億円)

項目	2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,623	4,850	227	4.9%
EBITDA	464	565	101	21.8%
営業利益	189	235	46	24.1%
経常利益	375	375	△0	△0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	239	245	6	2.6%

項目	2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差異 (B) - (A)
総資産	9,463	10,200	737
有利子負債	3,582	4,150	568
自己資本	4,372	4,500	128
年間配当金(円/株)	*1 110.00	*2 未定	—

\*1: 110.00円(中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

\*2: 現在、資本効率の改善と株主還元の充実に向けて配当方針(DOE水準)の見直しを進めていますが、2026年5月20日に公表し、同日開催する経営概況説明会において説明する予定です。

## セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

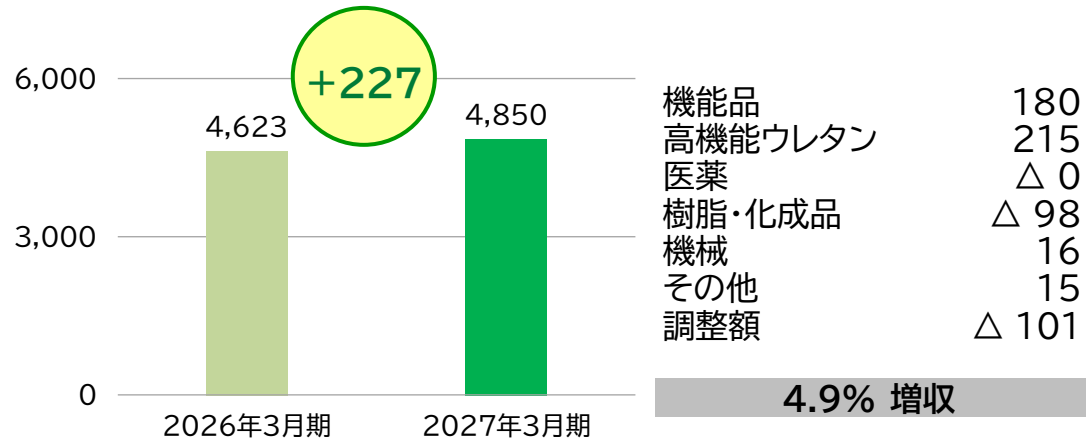
	セグメント	2026年3月期	2027年3月期	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	710	890	180	25.4%
	高機能ウレタン	465	680	215	46.1%
	医薬	210	210	△ 0	△ 0.0%
	樹脂・化成品	2,488	2,390	△ 98	△ 3.9%
	機械	684	700	16	2.3%
	その他	345	360	15	4.4%
	調整額	△ 279	△ 380	△ 101	—
	計	4,623	4,850	227	4.9%
営業利益	機能品	99	150	51	52.1%
	高機能ウレタン	△ 5	10	15	—
	医薬	△ 13	5	18	—
	樹脂・化成品	80	50	△ 30	△ 37.7%
	機械	62	45	△ 17	△ 27.9%
	その他	19	15	△ 4	△ 21.7%
	調整額	△ 53	△ 40	13	—
	計	189	235	46	24.1%

(注) 2027年3月期より、UBE America Inc.を「樹脂・化成品」から「機能品」へセグメント変更しています。2026年3月期実績は、新しいセグメントに組み替えた場合の参考値です。

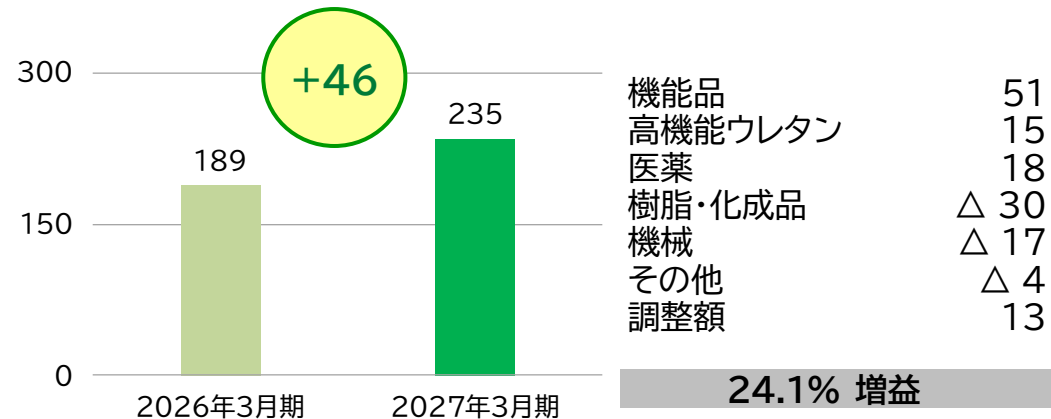
# 差異分析 全社

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- 機能品 :ポリイミド、分離膜、セラミックス、セパレータの販売数量が増加
- 高機能ウレタン:ウレタンシステムズの業績が12か月で寄与\*

### 営業利益:増益

- 機能品 :ポリイミド、分離膜、セパレータの販売数量が増加
- 高機能ウレタン:ウレタンシステムズが米国事業を中心に堅調に推移
- 医薬 :受託医薬品の販売構成が改善

\*2025年4月事業取得。当事業を担う各社が12月決算のため、2026年3月期の業績へは9か月分のみが反映されている。

## 営業利益差異

価格差 ※1      △ 42

数量差                      170

固定費ほか ※2    △ 82

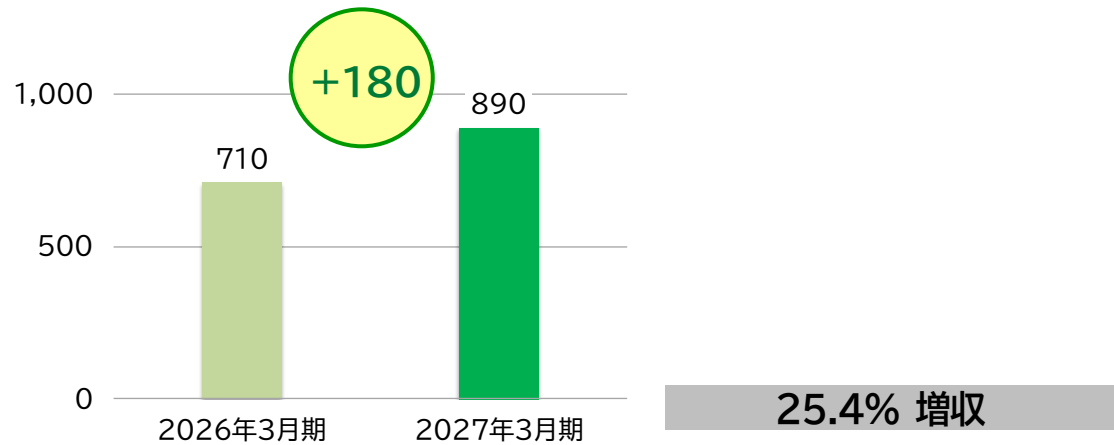
**計                              46**

※1:資材単価差含む  
 ※2:在庫評価差含む

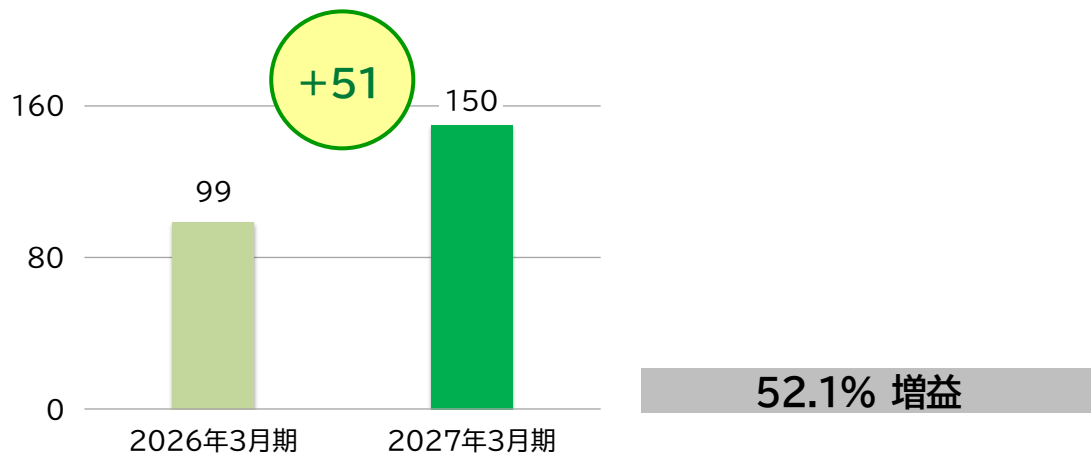
# 差異分析 機能品

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- ・ポリイミド :フィルム、ワニスの販売が増加
- ・分離膜 :窒素分離膜、バイオメタン製造向けCO<sub>2</sub>分離膜で販売が増加
- ・セラミックス :電動車向け軸受・基盤用途の販売が増加
- ・セパレータ :ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

### 営業利益:増益

- ・ポリイミド :フィルム、ワニスの販売が増加
- ・分離膜 :窒素分離膜、バイオメタン製造向けCO<sub>2</sub>分離膜で販売が増加
- ・セパレータ :ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

## 営業利益差異

価格差 ※1      △ 47

数量差                      138

固定費ほか ※2    △ 40

計                              51

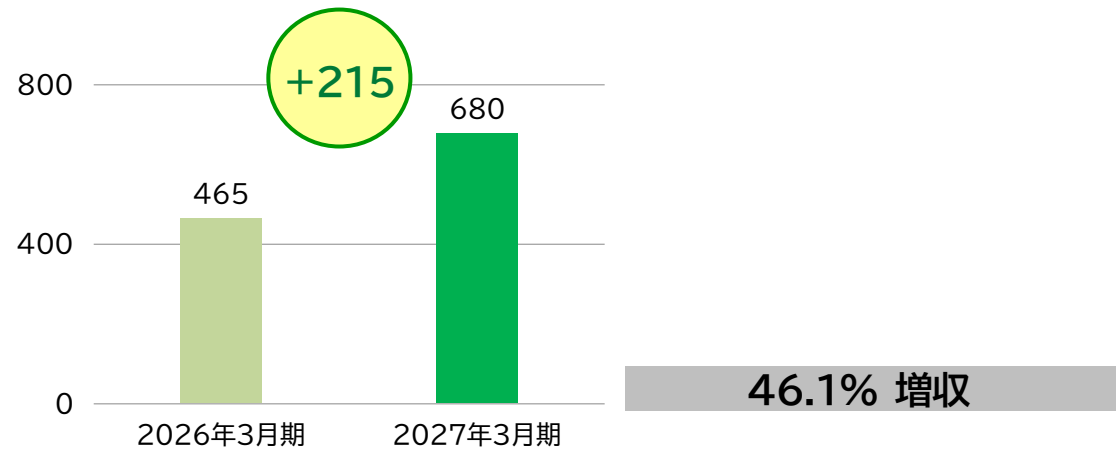
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

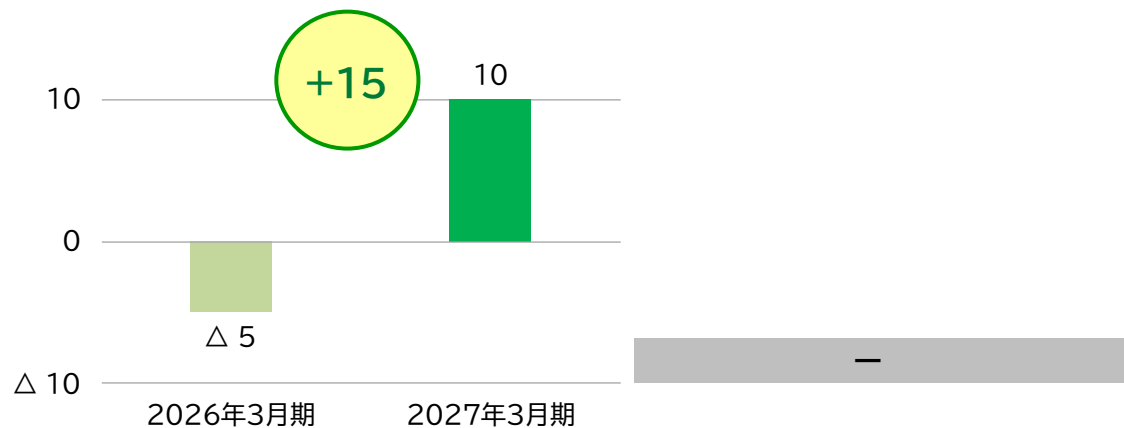
# 差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- ・ウレタンシステムズ:業績が12か月分\*で寄与
- ・高機能コーティング:海外を中心に販売が増加

### 営業利益:増益

- ・ウレタンシステムズ:米国事業を中心に堅調に推移
- ・高機能コーティング:海外を中心に販売が増加

\*2025年4月事業取得。当事業を担う各社が12月決算のため、2026年3月期の業績へは9か月分のみが反映されている。

## 営業利益差異

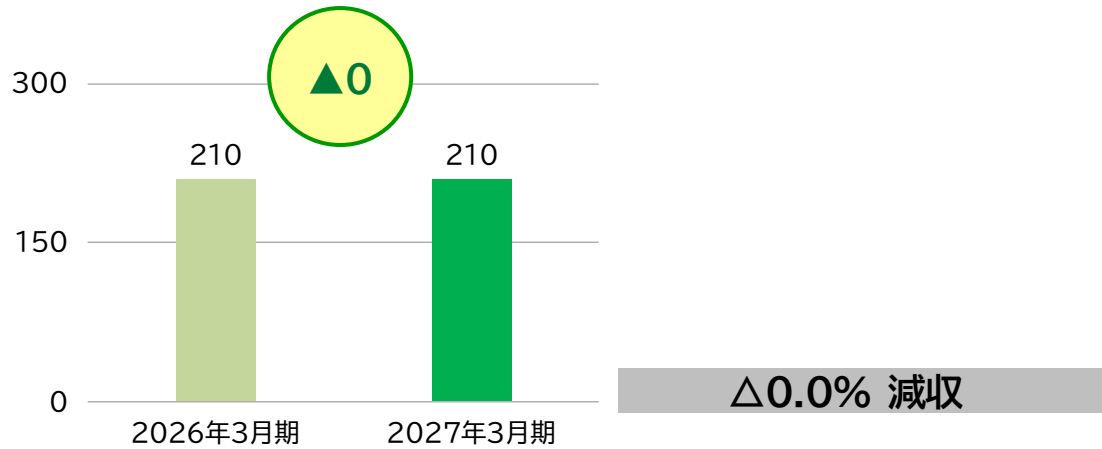
価格差 ※1	6
数量差	9
固定費ほか ※2	1
<b>計</b>	<b>15</b>

※1:資材単価差含む  
 ※2:在庫評価差含む

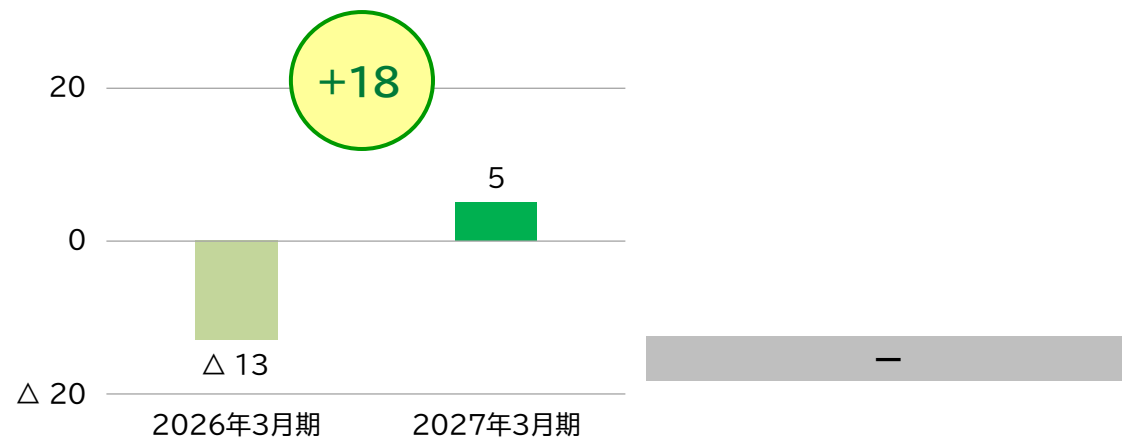
# 差異分析 医薬

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- ・受託医薬品の販売数量が前年並みで推移

### 営業利益:増益

- ・受託医薬品の販売構成の改善等

## 営業利益差異

価格差 ※1 2

数量差 4

固定費ほか ※2 12

計 18

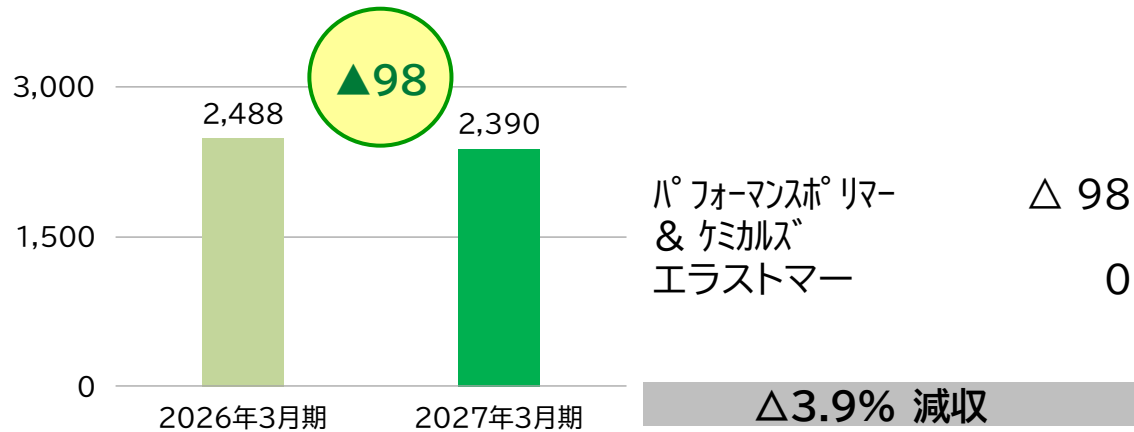
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

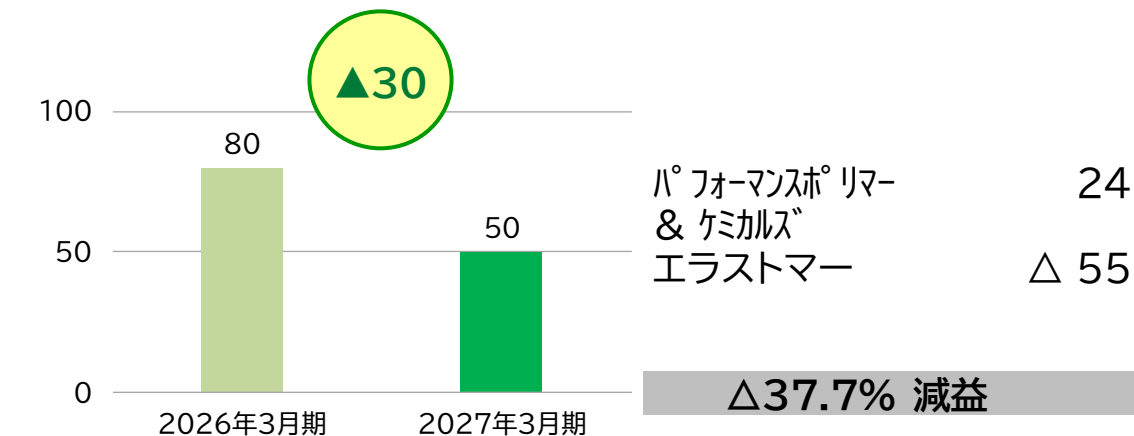
# 差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:減収

- ・カプロラクタム・硫安 :タイにおける生産を2026年3月で停止
- ・ナイロンポリマー :タイにおける生産を2026年3月で縮小

### 営業利益:減益

- ・C1ケミカル :ライセンス収入が減少  
米国DMC・EMC工場建設に係る費用が増加
- ・エラストマー :原料価格の上昇によりスプレッド(製品売価と原料価格の差)が縮小

## 営業利益差異

価格差 ※1  $\Delta 10$

数量差  $\Delta 20$

固定費ほか ※2  $\Delta 40$

計  $\Delta 30$

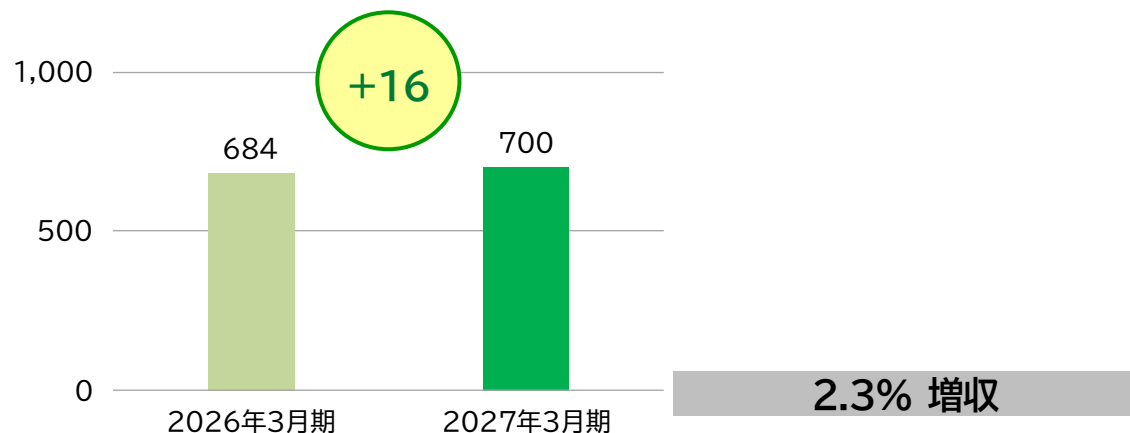
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

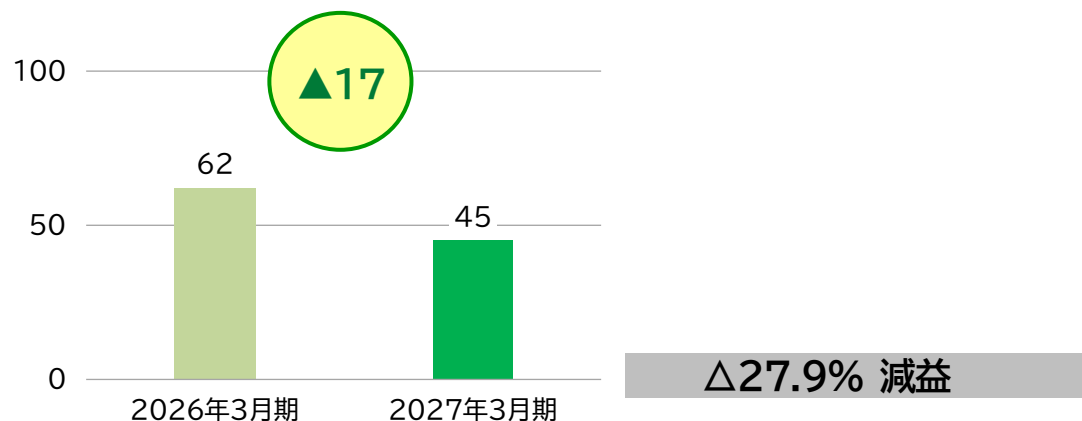
# 差異分析 機械

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- 成形機 :製品販売が増加
- 産機 :製品販売が増加

### 営業利益:減益

- アフターサービスにおいて好採算案件が減少

## 営業利益差異

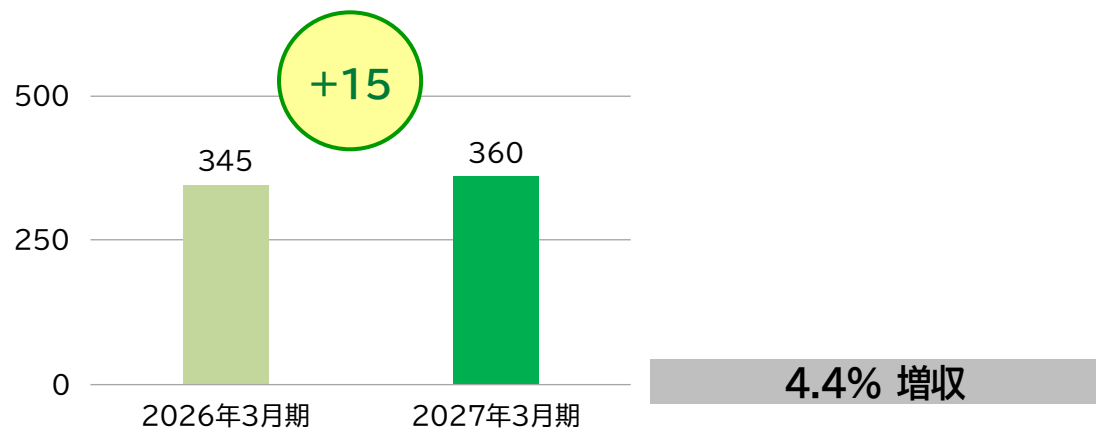
### 機械部門限界利益 1

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

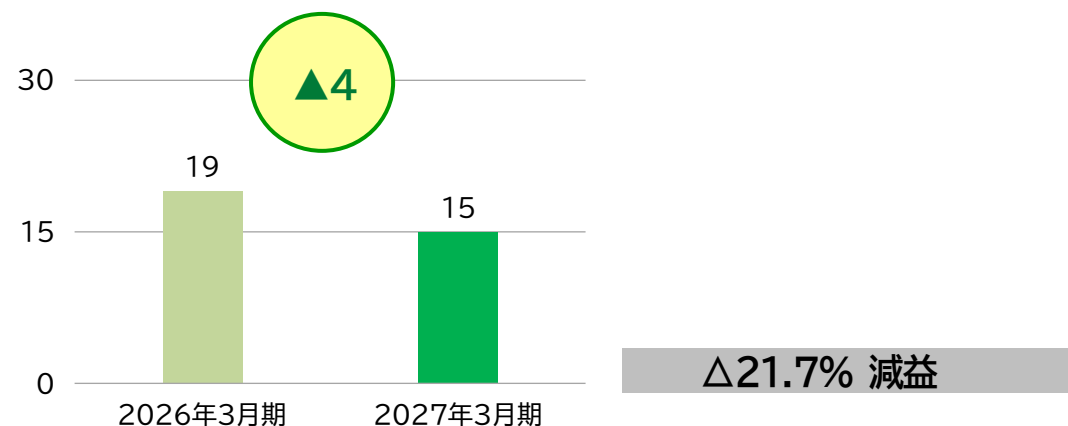
# 差異分析 その他

(単位:億円)

## 売上高



## 営業利益



## 定性情報

### 売上高:増収

- 電力 :石炭価格の上昇により売電価格が上昇

### 営業利益:減益

- 海外販社の販売が減少

## 営業利益差異

価格差 ※1                      6

数量差                              0

固定費ほか ※2     $\Delta$  11

計                                       $\Delta$  4

※1:資材単価差含む

## 営業利益～当期純利益

(単位:億円)

項目	2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	189	235	46
営業外損益	186	140	△ 46
経常利益	375	375	△ 0
特別損益	△ 68	△ 40	28
税金等調整前当期純利益	307	335	28
法人税等・非支配株主利益	△ 69	△ 90	△ 21
親会社株主に帰属する当期純利益	239	245	6
1株当たり当期純利益	245.76円	252.20円	6.44円

# 參考資料

---

## 売上高 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計	
機能品	150	148	151	170	619	690
高機能ウレタン	32	139	145	150	465	505
医薬	43	62	41	65	210	230
樹脂・化成品	597	588	661	666	2,512	2,570
機械	145	153	170	217	684	740
その他	86	81	89	89	345	355
調整額	△ 48	△ 48	△ 61	△ 55	△ 212	△ 190
計	1,005	1,122	1,194	1,302	4,623	4,900

## 営業利益 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計	
機能品	19	24	24	31	98	125
高機能ウレタン	△ 4	1	△ 6	4	△ 5	10
医薬	△ 6	1	△ 4	△ 4	△ 13	0
樹脂・化成品	13	29	39	1	82	95
機械	11	8	20	24	62	65
その他	5	5	6	3	19	15
調整額	△ 8	△ 12	△ 14	△ 19	△ 54	△ 60
計	30	55	65	40	189	250

## 売上高 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	151	170	19	
高機能ウレタン	145	150	6	
医薬	41	65	24	
樹脂・化成品	661	666	5	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 9 エラストマー Δ 4
機械	170	217	47	
その他	89	89	1	
調整額	Δ 61	Δ 55	6	
計	1,194	1,302	107	

## 営業利益 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	24	31	6	
高機能ウレタン	△ 6	4	11	
医薬	△ 4	△ 4	0	
樹脂・化成品	39	1	△ 38	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 13 エラストマー △ 25
機械	20	24	4	
その他	6	3	△ 2	
調整額	△ 14	△ 19	△ 5	
計	65	40	△ 25	

## ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	ポートフォリオ*1	2025年3月期	2026年3月期*2	2027年3月期
		実績	実績	予想
売上高	スペシャリティ事業	1,807	1,919	2,295
	構造改革事業	2,004	1,878	1,781
	機械事業	869	684	700
	その他(調整額を含む)	188	142	74
	計	4,868	4,623	4,850
営業利益	スペシャリティ事業	237	175	155
	構造改革事業	△ 102	△ 11	76
	機械事業	79	62	45
	その他(調整額を含む)	△ 33	△ 37	△ 41
	計	180	189	235

\*1 2026年3月期より、ポートフォリオ区分を変更しています。なお、2025年3月期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

\*2 2027年3月期よりUBE America Inc.を「樹脂・化成品」から「機能品」へセグメント変更しました。2026年3月期実績についても比較のため同様に組み替えています。

# UBE三菱セメント

## ■UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書 (単位:億円)

項目		2025年3月期	2026年3月期
売上高	国内事業	3,770	3,724
	海外事業	1,840	1,660
	計	5,610	5,384
営業利益	国内事業	176	258
	海外事業	332	242
	計	508	501
経常利益		528	529
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		303	240

## ■UBE(株) 持分法投資損益

項目	2025年3月期	2026年3月期
持分法による投資利益	156	126

## ■UBE三菱セメント(株) 定量情報

項目		2025年3月期	2026年3月期
セメント(国内)総需要	(万t)	3,265	3,053
セメント(国内)販売数量	(万t)	775	738
セメント(米国)販売数量	(万st)	161	144
生コン(米国)販売数量	(万cy)	619	550
一般炭価格(参考指標)*	(\$/t)	130	109
ドル為替レート	(円/ドル)	153	151

\* 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

## (参考)2026年3月期 連結貸借対照表

(単位:億円)

総資産	8,518	有利子負債	1,963	自己資本	3,777
自己資本比率	44.3%	D/Eレシオ	0.52倍		

### 2026年3月期実績

- 国内事業: セメント販売数量の減少や電力事業における隔年の定修影響があったものの、セメントや生コン、資源事業における値上げ効果及び熱エネルギー価格低下が寄与し、国内事業全体では前期比で減収増益となった。
- 海外事業: 米国事業における金利高止まり等を背景としたセメント、生コンの需要停滞・販売数量減少に加え、定期修理費用の期ズレなど一過性コストの発生、豪州石炭事業における販売価格の下落により、前期比で減収減益となった。

## 連結主要指標

(単位:億円)

項目	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 <予想>
設備投資	607	690	850
減価償却費	272	257	310
研究開発費	99	124	130
事業利益*	270	354	415
有利子負債残高	3,305	3,582	4,150
自己資本	3,951	4,372	4,500
総資産	8,662	9,463	10,200
D/Eレシオ(倍)	0.84	0.82	0.92
自己資本比率(%)	45.6	46.2	44.1
売上高営業利益率(%)	3.7	4.1	4.8
総資産事業利益率(%)	3.3	3.9	4.2
自己資本当期純利益率(%)	△ 1.2	5.7	5.5
投下資本利益率(%)	3.0	3.8	4.0

\* 事業利益: 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法による投資損益

(注) 2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

# 主要連結子会社

(単位:億円)

会社名	事業内容	売上高	営業利益 <sup>*2</sup>
		2026年3月期	対2025年3月期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム・硫安、高機能コーティング等の製造・販売	589	↑
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム・硫安 <sup>*1</sup> の製造・販売	398	↑
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン(合成ゴム)の製造・販売	229	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	105	↑
宇部エクシモ株式会社	電子・情報通信関連製品等の製造・販売	122	↑
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	503	↓

\*1 2026年3月生産停止

\*2 ↑ ↓は1億円以上の増減を示す

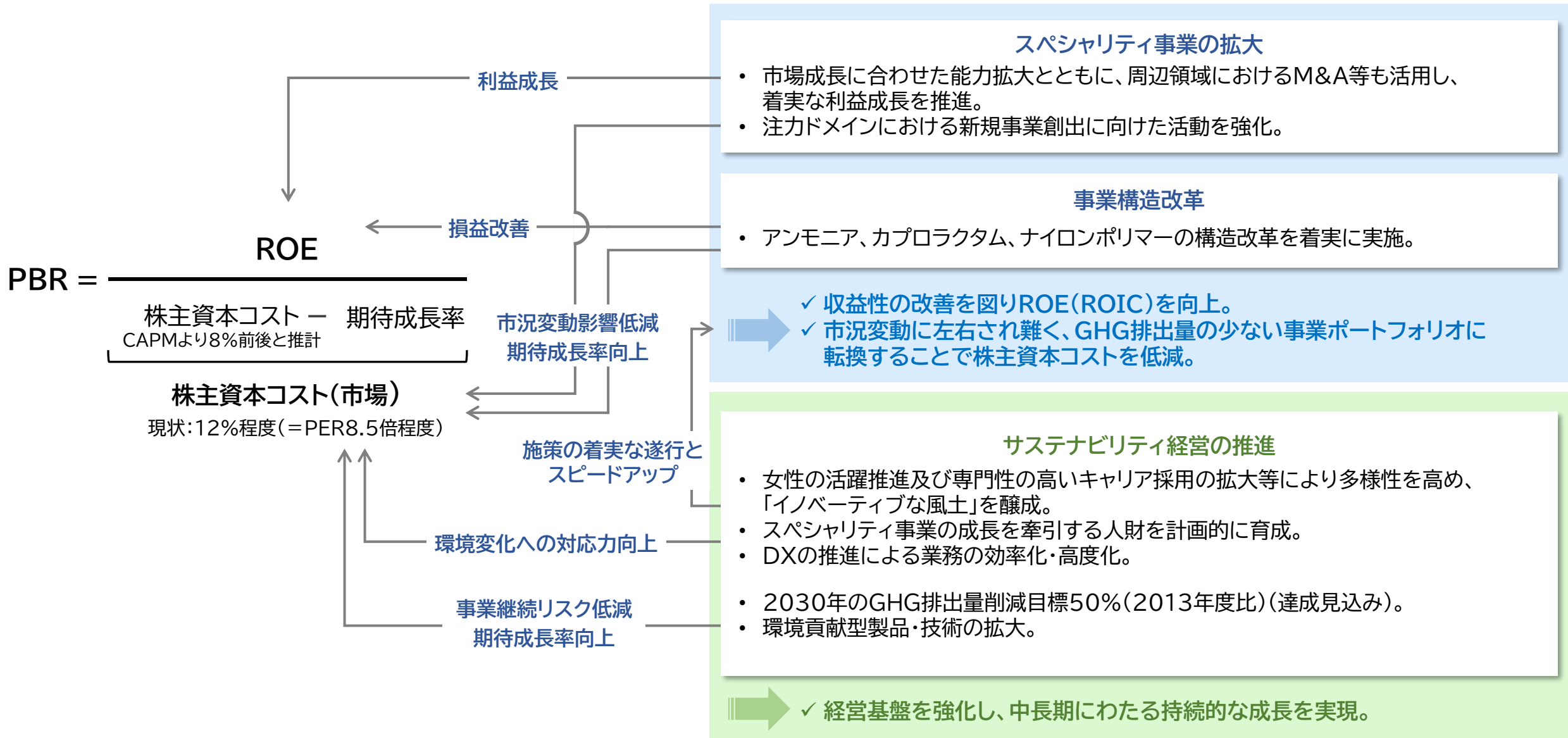
## 2027年3月期 セグメント別 上期・下期 内訳

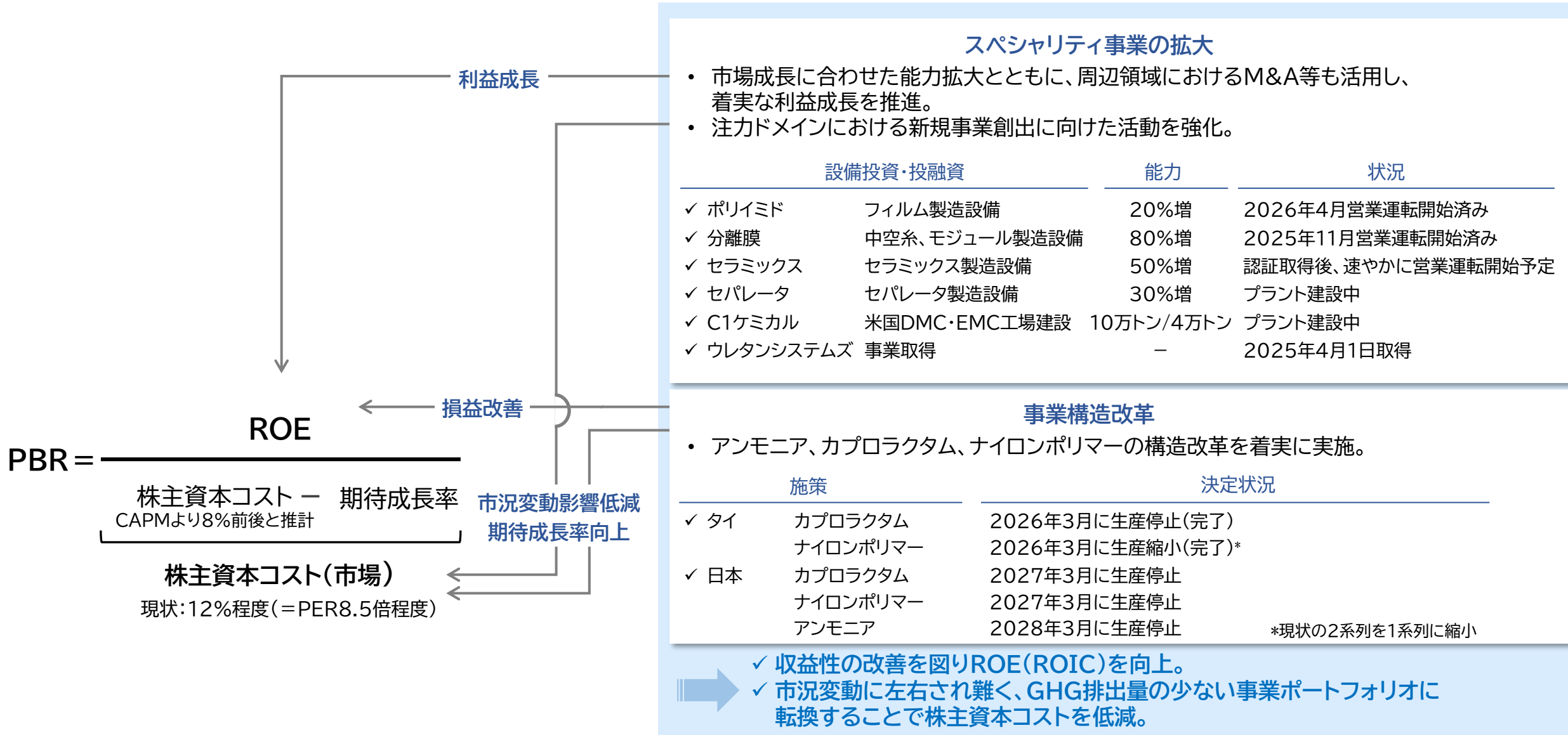
(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期実績	下期予想	通期	上期実績	下期予想	通期
機能品	415	475	890	60	90	150
高機能ウレタン	340	340	680	5	5	10
医薬	95	115	210	△ 5	10	5
樹脂・化成品	1,195	1,195	2,390	△ 5	55	50
機械	295	405	700	10	35	45
その他	185	175	360	10	5	15
調整額	△ 175	△ 205	△ 380	△ 20	△ 20	△ 40
計	2,350	2,500	4,850	55	180	235

## 設備投資主要案件

セグメント	件名	場所	完工時期
機能品	セラミックス(窒化珪素)工場 増設	宇部	2026年度
	セパレータ工場 増設	堺	2026年度
樹脂・化成品	DMC・EMC工場 建設	米国	2026年度
	高純度硝酸 増設	宇部	2026年度





$$PBR = \frac{ROE}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}$$

CAPMより8%前後と推計

株主資本コスト(市場)  
現状:12%程度(=PER8.5倍程度)

環境変化への対応力向上

事業継続リスク低減  
期待成長率向上

### サステナビリティ経営の推進

- 女性の活躍推進及び専門性の高いキャリア採用の拡大等により多様性を高め、「イノベーティブな風土」を醸成。
- スペシャリティ事業の成長を牽引する人財を計画的に育成。
- DXの推進による業務の効率化・高度化。

KPI	2024年度実績	2030年度目標
✓ 女性社員比率(国内連結)	16.0%	25.0%
✓ 女性管理職比率(国内連結)	5.8%	10.0%
✓ キャリア採用比率(総合職)(国内連結)	51.3%	—%
✓ 外国人採用(国内連結)	5名	—名
✓ 一人当たりの人財投資額(単独)	20.5万円	30万円

- 2030年のGHG排出量削減目標50%(2013年度比)(達成見込み)。
- 環境貢献型製品・技術の拡大。

KPI	2024年度実績	2030年度目標	2035年度目標
✓ GHG排出量50%削減(2013年度比)	32%減 (320万トン/年)	50%減* (237万トン/年)	70%減 (142万トン/年)
✓ 環境貢献型製品・技術の売上高比率	45%	60%	—%

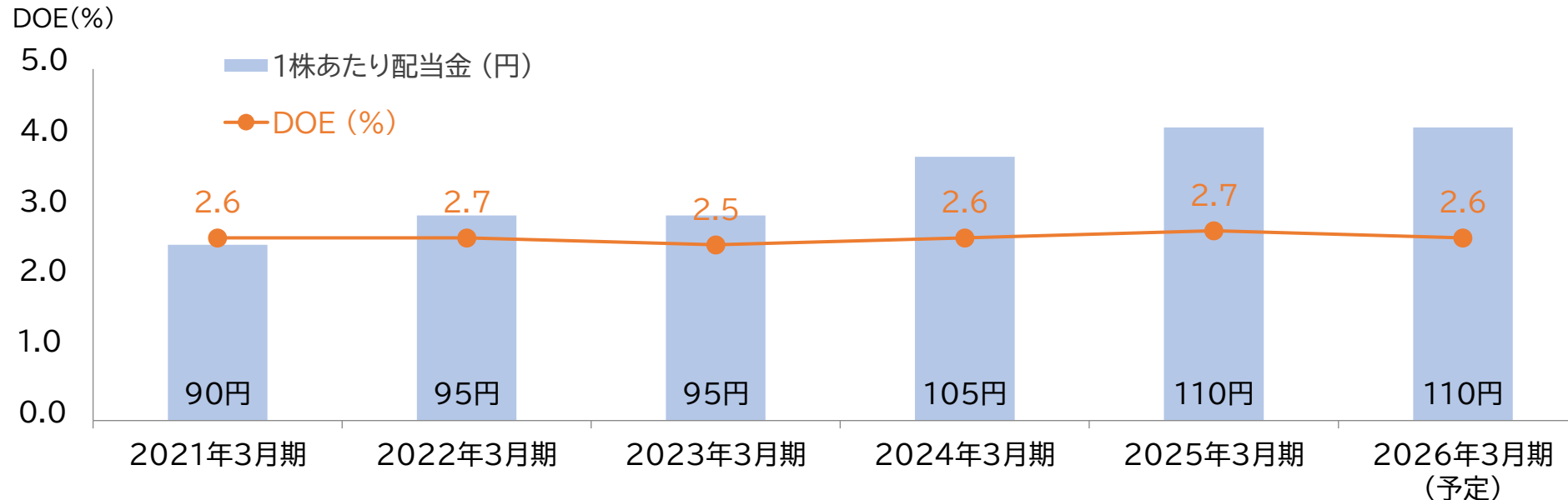
\* アンモニア・カプロラクタム・ナイロンポリマーの生産停止・縮小により2028年度65%減(166万トン/年)を見込む

✓ 経営基盤を強化し、中長期にわたる持続的な成長を実現。

- 安定配当を基本方針とし、株主資本配当率(DOE)を2.5%以上と設定。
- 中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3カ年には引き上げを目指す。

前中期経営計画  
1st Stage(2022~2024年度)  
株主資本配当率(DOE) 2.5%以上  
連結総還元性向 30%以上(3カ年平均)

現中期経営計画  
2nd Stage(2025~2030年度)  
**株式資本配当率 2.5%以上**  
(累進配当を目指す)



(注) 現在、資本効率の改善と株主還元の充実に向けて配当方針(DOE水準)の見直しを進めています。このため、2027年3月期の年間配当予想を未定としていますが、2026年5月20日に公表し、同日開催する経営概況説明会において説明する予定です。

## 定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 樹脂・化成品セグメントの営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場(千葉地区)で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

## ● UBE株式会社

- 2027年3月期 経営概況説明会
  - ・ 2026年5月20日 10:00 ~ 11:30
- 2027年3月期 第1四半期 決算発表
  - ・ 2026年8月7日 15:30
- 2027年3月期 第1四半期 決算説明会
  - ・ 2026年8月7日 18:00 ~ 18:45

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

# UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありませんことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場等があります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用等を行うことはできません。